CHOFU KOSAN

焼却兼用ふろがま

取扱説明書
工事説明書

K－7　　LK－7

このたびは本品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
お取扱いの前にぜひこの取扱説明書を読んで正しいご使用方法でいつまでもご愛用くださいますようお願い申しあげます。

1．まちがった使用をされますと、機能をじゅうぶんに発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。
2．保証書（この説明書最終ページ）は必ず販売店名、設置日などの記入を確かめて、この取扱説明書と共に大切に保管してください。

長府工産株式会社

目　　次

取　扱　編

1　特に注意していただきたいこと……1
2　各部の名称　……3
3　使用前の準備　……3
4　使用方法　……4
　1 機器の使用方法……4
　2 凍結予防……4
　3 使用上の注意……4
5　日常の点検、手入れ……5
6　定期点検　……6
7　修理を依頼される前に……6
8　部品交換のしかた……6
9　仕　様……7
10　アフターサービス……7
11　据付け……8

工　事　編

1　安全のために必ずお守りください……10
2　開　こ　ん　……12
3　据　付　け　……12
4　煙突の取付け　……14
5　煙突の点検……16

取　扱　編

1　特に注意していただきたいこと

●**ここに示した事項は　⚠警告　⚠注意　に区分しています。**

⚠警告　：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、 または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●「 ⚠ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●マークについては次のような意味があります。

……「禁止していること」を表すマークです。

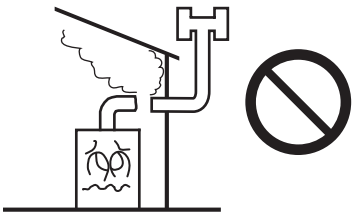
……「必ず行なうこと」を表すマークです。

……「注意すべきこと」を表すマークです。

⚠警告（WARNING）

1．はずれ危険

煙突がはずれたままで使用しないでください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



2．煙突の閉そく危険

煙突がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

⚠警告（WARNING）

3．火災予防のため、次のことをお守りください

機器周辺の物との隔離距離を確保すること。（標準据付け例参照）
機器周辺に紙や木材などの燃えやすい物を置かないこと。
機器周辺にガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないこと。
機器周辺にスプレー缶を置いたり、使用したりしないこと。
火をつけたまま就寝や外出をしないこと。

この機器の設置・移動および付帯工事は必ずお買上げの販売店に依頼してください。

⚠注意（CAUTION）

1．高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部、排気部に手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。

2．空焚きに注意

浴槽に水が入っていることを確認してください。
火災のおそれがあります。
（必ず水位が浴槽の上側の循環口から５cm 以上あることを確認してください）

3．分解修理・改造の禁止

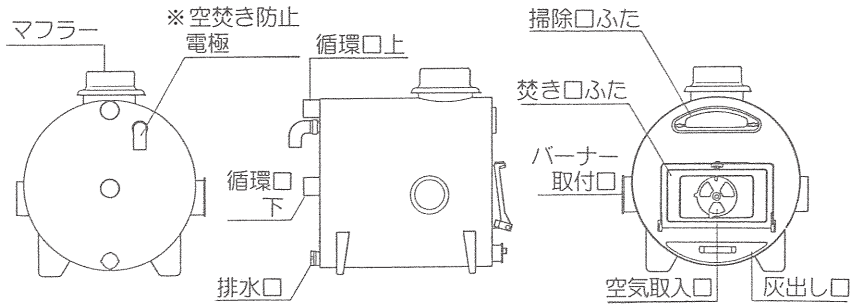
故障や破損したときは、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

4．異常時使用禁止

万一異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

2 各部の名称

●外　観　図



※空焚き防止電極はバーナーを取付けた場合に使用します。

3 使用前の準備

運転開始前の準備と確認

1．給水及び水漏れの確認

・浴槽の水を確認してから点火してください。浴槽の上側の循環口から約５㎝上まで給水してください。
・浴槽の排水栓は水漏れのないよう、しっかりしめてください。

2．周囲の危険物

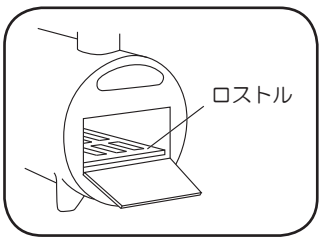
ふろがまの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

3．煙突の確認

煙突は確実に接続してあり、漏れや、はずれはないか確認してください。

4．ロストルの確認

ロストルの平らな面が上になっていることを確認してください。



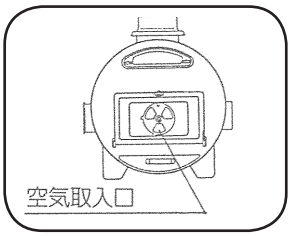
4 使用方法

1 機器の使用方法

⚠ 注意

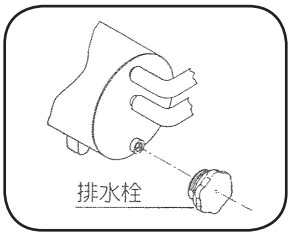
1．浴槽の上側の循環口より水位が５㎝以上あるか確認してください。
2．ふろがまに一度にたくさんのまきやゴミを詰め込まないでください。燃えづらくなります。
3．プラスチック、硫黄分や塩分（海水）など含んだものは使用しないでください。
4．灰や燃えかすの掃除を行なってください。灰や燃えかすがたまると湯の沸きが悪くなります。

1．新聞紙を軽くねじって火をつけ、ロストルの上に置きます。
2．まきやゴミを入れ、焚きつけます。
3．焚きついたことを確認して、焚き口ふたを閉め、空気取入口を開けておきます。



2 凍結予防法

凍結のおそれのあるときは、浴槽の水を抜いたあと、ふろがまの水を排水してください。



3 使用上の注意

1．煙　突

煙突は高温です。やけどに注意してください。

2．循環口

浴槽の循環口は、タオルなどでふさがないでください。

3．入浴剤、洗剤

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、かまが腐食する原因となりますので、使用しないでください。

5 日常の点検、手入れ

⚠ 注意

ふろがまの火が完全に消えたことを確認して行なってください。

1．灰や燃えかす

まきやゴミを燃やした場合は必ず掃除をしてください。

2．周囲の可燃物

燃えやすいものが落ちたり、ふれたりするおそれがないことを確認してください。

3．ほこり

ふろがま周辺にたまったほこりや汚れは、思わぬ事故の原因になります。掃除をしてください。

4．煙突及びトップの周辺

煙突及びトップに可燃物がふれるおそれはないか確認してください。又煙突にすすの付着はないか確認し、あれば掃除をしてください。

5．水漏れ

ふろがまやパイプの接続部などから水漏れがないことを確認してください。水漏れがあれば、防漏処置をしてください。

6．ふろがま

1 年に 1 回程度ふろがまの掃除を行なってください。

6 定期点検

■定期点検に関する注意

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。1 年に 1 回程度、お買い上げの販売店に点検依頼されることをおすすめします。

7 修理を依頼される前に

■次のような場合は故障ではありません

現　象	理　由
掃除口や灰出し口から水がしたたり落ちる。	⑴ 燃焼ガス中の水分が缶壁で冷やされて結露した水が出ることがあります。 ⑵ 生木や竹など燃やしたとき、多量の水がでることがあります。
沸きが悪くなった。	灰や燃えかすが残っていると空気の流れが悪くなり、ふろがまの性能が落ちます。ふろがまの掃除をしてください。
煙突の排気が悪くなった。	

8 部品交換のしかた

交換品が必要なときは、お買い求めになった販売店でお求めください。

■修理は（財）日本石油燃焼機器保守協会で行なう技術管理講習会修了者［石油機器技術管理士］の修理をお受けください。

9 仕　様

ふろがまの型式	K－7	LK－7
種類	屋内用半密閉式自然通気形	
使用燃料	まき、ゴミ	
外形寸法	高さ 525 ㎜×幅 430 ㎜ ×奥行 489 ㎜	高さ 525 ㎜×幅 430 ㎜ ×奥行 619 ㎜
質量	25kg	30kg
煙突径	φ 115 ㎜	
循環管取付口径	φ 45 ㎜	
基準浴槽	200 ～ 300 L（２人用）	
附属品	ゴムエルボ (2)、ワイヤクランプ (4)、灰かき棒 (1)、マフラー (1)、ロストル (1)、取扱説明書・工事説明書 (1)	
別売品	バーナーロアダプター	

10 アフターサービス

1．修理について

ご使用中に異常が生じた場合は、お買い求めの販売店、または弊社までご連絡ください。なお、ご連絡されるときは、機器の型式名及びお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

（1）ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

（2）ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合は、弊社までご相談ください。

（3）保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。

2．保証書について

保証書は、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。

保証書に設置日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。

万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたします。

この機器の保証期間は設置から３年です。その他の詳細は保証書をご覧ください。

この取扱説明書やラベル類による指示、禁止、注意事項に反したご使用状態で万一事故が発生した場合、弊社は責任を負いかねます。

11 据　付　け

1　据付け場所の選定

機器を据付ける場所は排水工事などの付帯工事の出来る場所にしてください。
また、火災予防上の所定の距離、隣家への防音上の配慮が必要です。

1．火災予防条例に関する事項

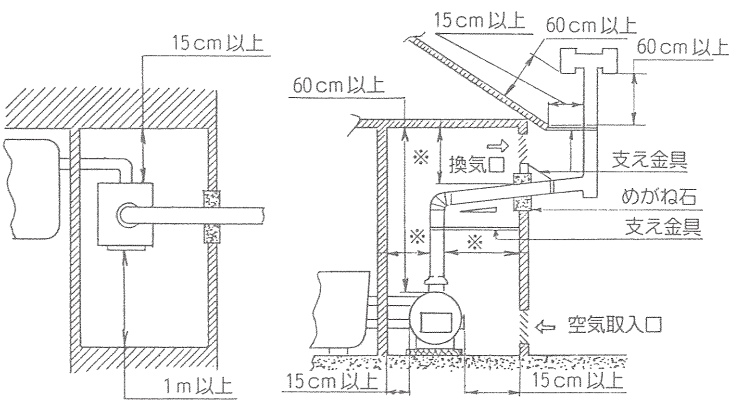
（1）床面は金属以外の不燃材料（コンクリート・ブロック・モルタル・しっくいなど）で仕上げてあり、安定していることを確認してください。
（2）周辺の壁が不燃材で仕上げてあることを確認してください。
（3）付近に燃えやすいものがなく、火災予防上の所定の距離がじゅうぶんとれていることを確認してください。
（4）換気をじゅうぶん行なえる場所であることを確認してください。
（5）設置後の保守点検が行なえる場所であることを確認してください。

2．配管に関する事項

（1）配管から水漏れがないことを確認してください。
（2）排水のしやすい場所であることを確認してください。

2　標準据付け例

機器の据付けが下図の設置基準に合致していることを確認してください。また、保守点検用スペースとして機器の前面は１m 以上の空間を設けてください。



※ 45cm 以上（ふろがまから 1.8m を超える場合は 15cm 以上）

3　騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないようじゅうぶん配慮して設置場所を選択してください。

4　据付け工事後の確認

1．床面は不燃性の材料であるかどうか、また周辺の可燃性の材料と機器との距離が基準寸法以上であるかどうかを確認してください。
2．煙突の貫通部及び設置寸法や煙突の位置が火災予防条例などの設置基準に適合しているかどうかを確認してください。
3．機器を設置した場所に排気ガスが滞留するおそれがないか確認してください。

5　試運転

正しく据付けられていることを確認した後、お買い求めの販売店・工事店などの立会いで必ず試運転をしてください。

（1）配管の接続部から水漏れがないことを確認してください。
（2）浴槽の水位が上側の循環口から５㎝以上あることを確認してください。
（3）４ページの **4　使用方法　1　機器の使用方法**に従ってまきやゴミを燃やしてください。
（4）機器に異常がないことを確認してください。

工　事　編

1　安全のために必ずお守りください

●**ここに示した事項は　⚠警告　⚠注意　に区分しています。**

⚠警告　：この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、 または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　：この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●「 ⚠ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●据付け工事完了後、試運転を行ない、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

●マークについては次のような意味があります。

⃠ ……「禁止していること」を表すマークです。

❗ ……「必ず行なうこと」を表すマークです。

⚠ ……「注意すべきこと」を表すマークです。

⚠警告

1．据付け工事の不備は危険

（1）据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや火災の原因になります。

（2）据付け工事は、この据付け工事説明書に従って確実に行なってください。
据付け工事に不備があると、水漏れや火災の原因になります。

（3）据付け工事部品は必ず附属部品及び指定の部品を使用してください。指定部品を使用しないと、機器の転倒や落下、水漏れ、火災の原因になります。

（4）据付けは、重量にじゅうぶん耐えるところに確実に行なってください。強度不足や取付けが不完全な場合は、機器の転倒や落下により、ケガの原因になります。

⚠警告

（5）据付け場所の選定には、下記の内容を守ってください。
・付近に燃えやすいものがない場所
・じゅうぶん換気の行なえる場所
・煙突工事が基準通りに行なえる場所

2．煙突工事の不備は危険
煙突工事は工事説明書に従って確実に行なってください。
正しい工事をされないと火災の原因になります。

⚠注意

1．可燃性ガスに注意
可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行なわないでください。万一ガスが漏れて周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

2．水漏れ注意
配管工事は、工事説明書に従って確実に配管してください。
不確実な場合は、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

3．煙突トップ・排気口周辺近くには窓などの開口部がないことを確認し、特に隣家への配慮を行なってください。

4．煙突の横引きが長いと結露を起こしますので横引きはできるだけ短くし、屋外では横引きしないようにしてください。

2 開こん

附属部品

附属品	
ゴムエルボ	2
ワイヤクランプ	4
灰かき棒	1
マフラー	1
ロストル	1
取扱説明書・工事説明書	1

上記の部品に欠品、不良品がありましたら、形式・製造番号と部品名を販売店までお申し出ください。

3 据付け

1 据付け場所の選定

⚠ 警告

このふろがまは屋内用ですが、浴室内には絶対に設置しないでください。

ふろがまを据付ける場所は排水工事などの付帯工事のできる場所にしてください。
また火災予防上の所定の距離、隣家への防音上の配慮が必要です。

1．高温、直射日光をさける場所を選んでください。
2．付近に燃えやすいものがない場所を選んでください。
3．周辺の壁は金属以外の不燃材（コンクリート、ブロックなど）で仕上げてください。
4．ふろがまの重さにじゅうぶん耐える不燃材の床に据付けてください。
5．煙突工事が基準通りにできる場所を選んでください。

6．じゅうぶん換気の行なえる場所を選んでください。
7．各地域の火災予防条例に従って設置できる場所を選んでください。

2　据付けの前に

● 防火上大切なこと

1．床面の材料

床が可燃性の場合は必ず金属以外の不燃性の台を設けてください。

2．壁面の材料

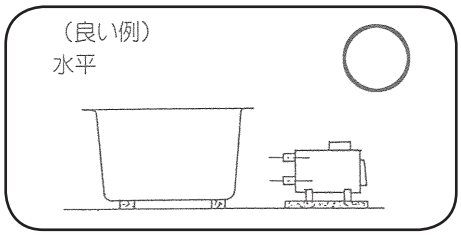
周辺の壁は金属以外の不燃性の材料（コンクリート、ブロック、モルタルなど）で仕上げてください。

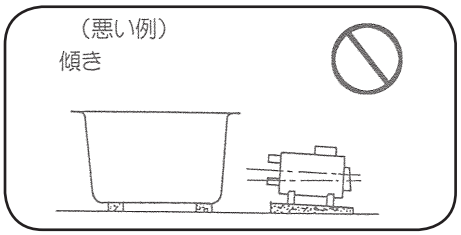
3．煙突の設置

煙突は必ず設置してください。

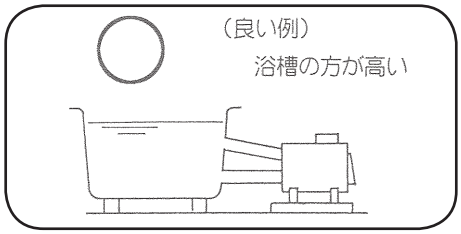
● 据付け上大切なこと

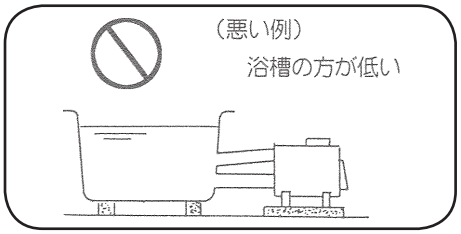
1．水平に据付けてください。





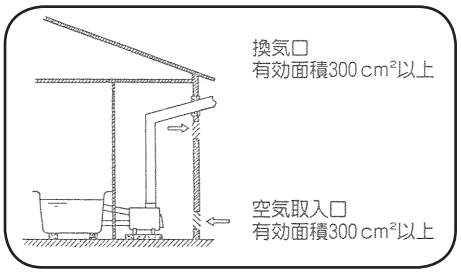
2．循環パイプは浴槽の方を高くしてください。





3．換気口を設けてください。

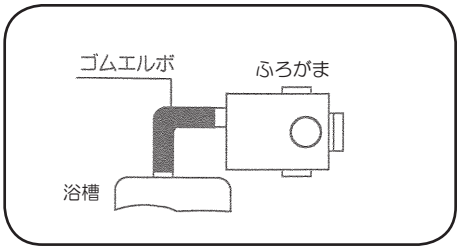
換気をじゅうぶんにし、ボイラ室などに設置する場合は上下２カ所に必ず換気口を設けてください。



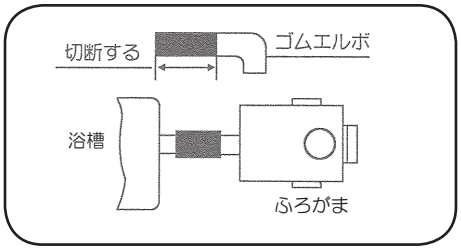
3　据付け方法

1．ふろがまの向き

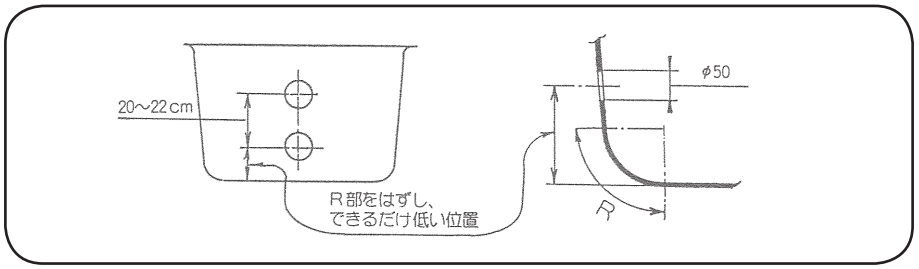
・浴槽とふろがまが直角な場合



・浴槽とふろがまが平行な場合

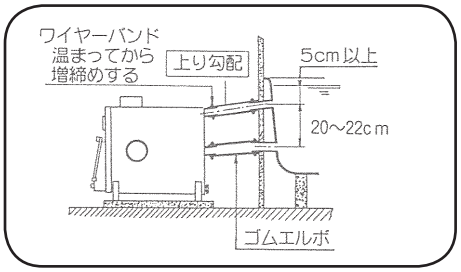


2．浴槽の穴あけ



3．配　管

ゴムエルボで浴槽と接続し、ワイヤクランプで水漏れのないよう確実に締めつけてください。



4　煙突の取付け

1．煙突の太さ

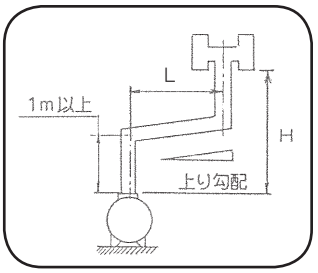
このふろがまの煙突はφ 115 ㎜です。必ず規定の太さのものをお使いください。

2．煙突の高さ

まき、ゴミを燃やすときは、自然通風を使用しますので、煙突の高さは３m 以上としてください。横引きがある場合は横引きの長さの 1/2 を高さ方向に加えてください。

Ｈ≧３＋Ｌ / ２

（曲がりは２ヶ所以内にしてください）



3．トップの形状

煙突トップはHトップを使用してください。

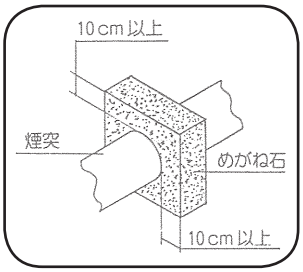
4．煙突の固定

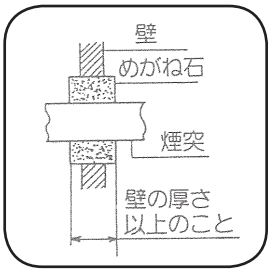
・煙突は風や振動などで倒れないように支え金具や支え線で固定してください。

・煙突は 1.5m ～２m おきに金具で固定してください。

5．家屋の貫通部

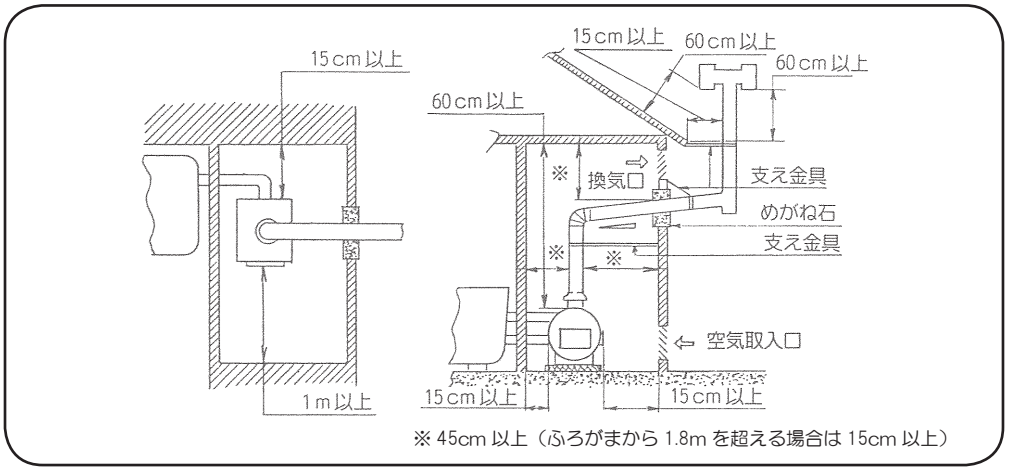
煙突が壁、天井などを貫通する部分は必ず不燃材のめがね石を使用してください。





6．標準取付け例

ふろがまの据付けが図の据付け例に合致していることを確認してください。

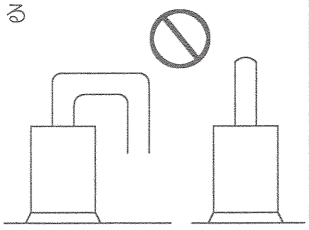


※ 45cm 以上（ふろがまから 1.8m を超える場合は 15cm 以上）

5 煙突の点検

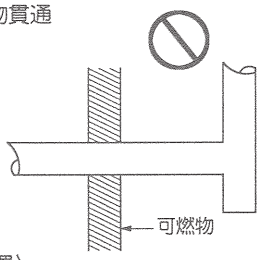
次のような、煙突の取付けは事故のもとです。取付けが終わりましたら、もう一度点検してください。まちがった取付けは危険であったり不完全燃焼をおこすおそれがありますので、必ず修正してください。

① 排気筒（煙突）なしで使用する



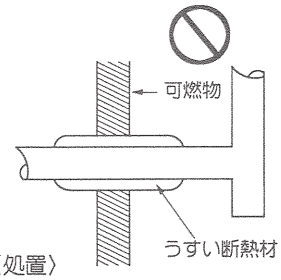
〈処置〉
正しく屋外まで排気筒を立てる。

② めがね石を使用しないで可燃物貫通



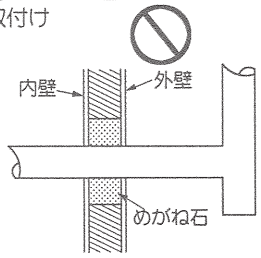
〈処置〉
めがね石を入れる。

③ うすい断熱材で可燃物貫通



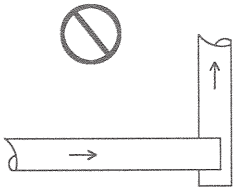
〈処置〉
めがね石を入れる。

④ めがね石を入れても可燃性の壁材がめがね石をおおうような取付け



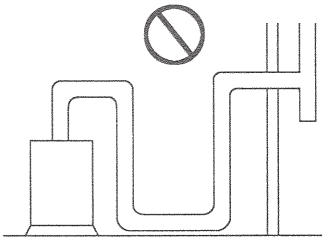
〈処置〉
壁より厚いめがね石に交換し、めがね石部の壁材を取除く。

⑤ 直角曲がり部で差し込みすぎ



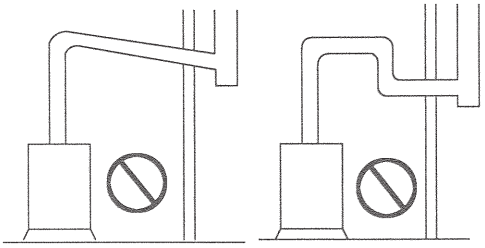
〈処置〉
正しい位置まで抜き、動かないよう固定する。

⑥ 排気筒（煙突）を床上または床下をはわせる



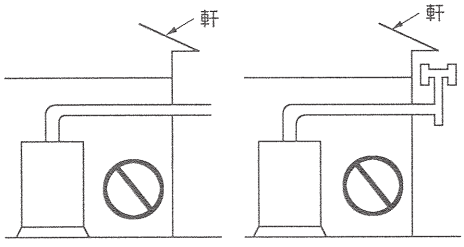
〈処置〉
正しく取付け直す。

⑦ 横引きが下り勾配とか下向き曲がり



〈処置〉上り勾配に直す。

⑧ トップが突き出したまま、トップが軒下



〈処置〉トップを軒先より60 cm 以上高くする。